



REPORT

第20期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

株式会社 エディオン (証券コード:2730)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、

日ごろからエディオングループへの

ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

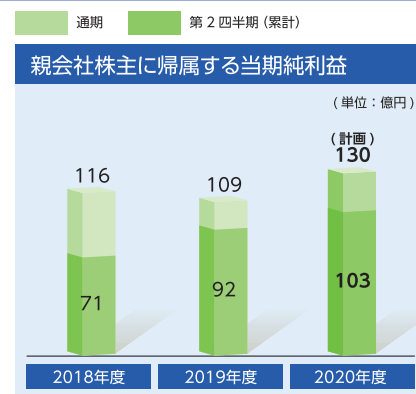
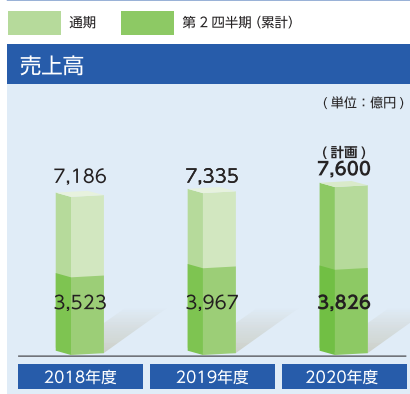
当グループは「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」として
様々な取り組みを行っております。

はじめに2020年度第2四半期(2020年4月1日から
2020年9月30日まで)の業績概要について
ご説明申し上げます。

代表取締役会長兼社長執行役員

久保 允孝

財務ハイライト



Q

2020年度上期の業績について

A

2020年度上期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行うとともに、一部の店舗では一定期間の休業や営業時間短縮を実施しました。また、緊急事態宣言の解除後も、消毒・清掃の徹底、従業員のマスク着用、ソーシャルディスタンスを確保した接客など感染症対策を継続実施しお客様が安心してご利用いただける店舗営業を行っております。こうした中で、特別定額給付金の支給が開始されたことや、外出自粛ムードの高まりなどからより快適な「おうち時間」を過ごしたいというお客様のニーズの高まりもあり、大画面テレビを中心とした映像家電商品やゲーム・玩具などの売上が順調に伸びました。また、「テレワーク需要」を背景にパソコンなどの情報家電商品も好調に推移しました。エアコンなど季節家電商品については、梅雨明けが遅れたものの8月になり記録的な猛暑日が続いたことなどもあり、概ね堅調に推移いたしました。そのほか、インターネット販売の普及が一段と進んだこともあり、エディオンネットショップの売上が大きく伸びました。

こうしたなか、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動から、売上高は、3,826億29百万円(前年同四半期比 96.4%)と減少いたしました。一方で、今期はコロナ禍によりチラシや販促イベントを自粛したことに加え、広告宣伝費を中心に販売管理費を大幅に圧縮したことなどにより、営業利益は166億95百万円(前期比 155.1%)、経常利益は166億81百万円(前期比 139.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 103 億 95百万円(前期比 112.2%)となりました。

Q

2020年度の見通しについて

A

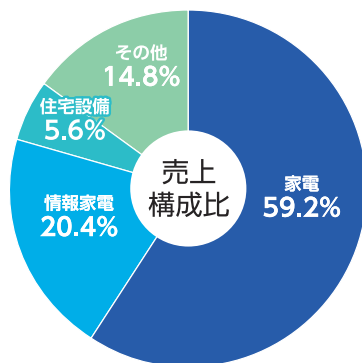
下期については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、在宅時間の増加、テレワークの浸透などによる「新しい生活様式」への対応を強化してまいります。「おうち時間」に対応したテレビ、パソコン、ゲーム機、調理家電などの商品提案や、ネットショップにおいては家電の品揃え充実とともに日用品、文具、衣料品など家電以外の需要にも対応し売上の拡大を図ってまいります。また、エディオンアプリを活用したデジタル販促により、集客および売上拡大を図ってまいります。そのほか、お客様の安心・安全意識が高まっていることから、ウイルス対策、除菌対策商品も強化してまいります。

出店については、当初の計画通り下期に家電直営店で3店舗を予定しており、上期の5店舗とあわせて年間では8店舗の出店となります。

通期の業績予想としては、売上高 7,600 億円(前期比 103.6%)、経常利益 240 億円(前期比 179.6%)、親会社株主に帰属する当期純利益 130 億円(前期比 118.4%)を見込んでおります。

今後もお客様の生活が便利で豊かになるようサポートを行い、売上の拡大とともに、更なる業務の効率化と経費コントロールを徹底することで販売管理費の圧縮にも取り組み、利益の最大化を図ってまいります。

●商品別概況 2020年4月～2020年9月



主要商品状況

(単位: 百万円)

商品名	2019年度上期	2020年度上期	前年比
テレビ	28,365	30,358	107.0%
冷蔵庫	35,539	31,967	90.0%
洗濯機・クリーナー	40,631	39,645	97.6%
エアコン	55,189	54,067	98.0%
パソコン	23,694	26,008	109.8%
携帯電話	33,089	22,766	68.8%
住宅設備	25,968	21,499	82.8%

● 連結損益計算書

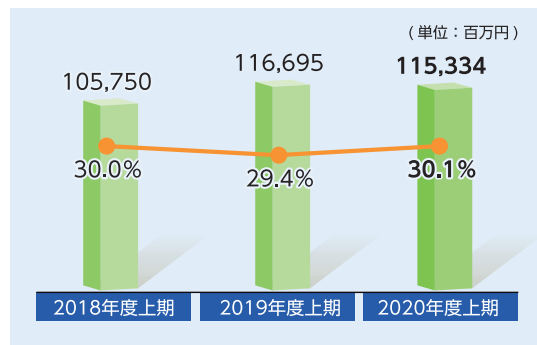
	2019年度上期	売上高比	2020年度上期	売上高比	前年比
売上高	396,736	100.0%	382,629	100.0%	96.4%
売上総利益	116,695	29.4%	115,334	30.1%	98.8%
販売費及び一般管理費	105,933	26.7%	98,639	25.8%	93.1%
営業利益	10,761	2.7%	16,695	4.4%	155.1%
経常利益	11,922	3.0%	16,681	4.4%	139.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,264	2.3%	10,395	2.7%	112.2%

(単位：百万円)

売上総利益

売上総利益率は30.1%となり前年同期から0.7ポイント上昇しました。これは梅雨明けが遅れたものの残暑が厳しかったこともありエアコンの構成比の上昇等によるものです。売上総利益額は売上高の減少もあり13億60百万円減少し1,153億34百万円となりました。

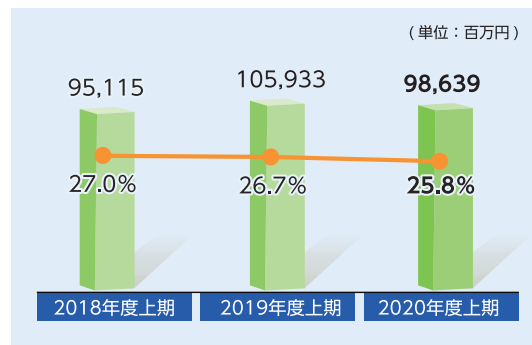
● 売上総利益率



販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、前年同期から72億93百万円減少し986億39百万円となりました。これはRPA導入などコスト削減への取り組みやデジタルチラシなどデジタル販促の活用による広告宣伝費の削減があったことによるものです。

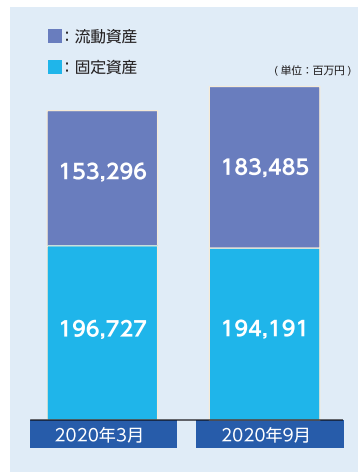
● 販管費比率



● 連結貸借対照表

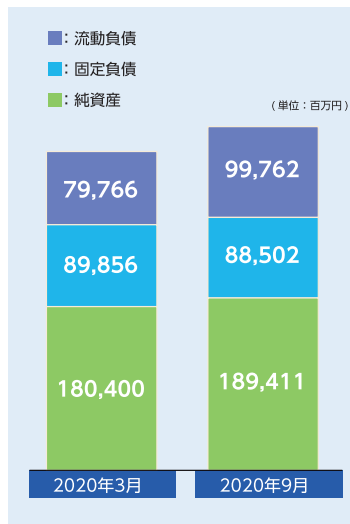
資産の部

総資産は前連結会計年度末と比較し276億52百万円増加し、3,776億77百万円となりました。これは、新型コロナウイルス感染症蔓延のリスクへの備えによる現金及び預金や商品及び製品の増加等による流動資産の増加が301億89百万円あったことと、売却や減価償却による建物及び構築物や土地の減少等による固定資産の減少が25億36百万円あったことによるものです。



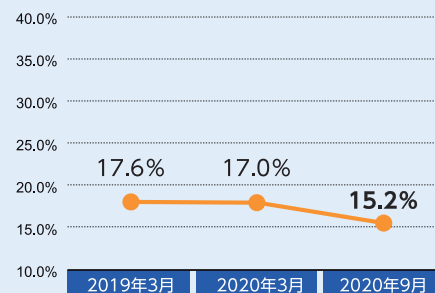
負債・純資産の部

負債は前連結会計年度末と比較し186億42百万円増加し、1,882億65百万円となりました。これは、商品在庫確保による支払手形及び買掛金の増加等による流動負債の増加が199億96百万円あったこととプットオプション行使の一部繰上償還による2025年満期の転換社債型新株予約権の減少等による固定負債の減少が13億53百万円あったことによるものです。純資産は前連結会計年度末と比較し90億10百万円増加し、1,894億11百万円となりました。これは剰余金の配当による株主資本の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が103億95百万円あったことによるものです。



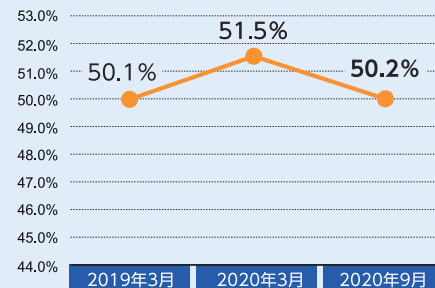
● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
	2020年上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,605
現金及び現金同等物の増減額	26,867
現金及び現金同等物の期首残高	15,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,842

有利子負債依存度^(※)

(※) 転換社債型新株予約権付社債を含む

自己資本比率



店舗ピックアップ 1 エディオン シーモール下関店



2020年6月26日(金)、オープン以来、約20年間で愛顧いただいております「エディオン下関店」をJR下関駅に隣接する複合商業施設「シーモール下関」の4階に移転し、「エディオンシーモール下関店」としてオープンいたしました。話題の4K・8Kテレビやゲーミングパソコン、冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどの家電製品をはじめ、リフォームコーナーや太陽光発電システム、オール電化商品、お子様に人気のおもちゃやテレビゲームもあり、お子様から大人まで楽しみながらお買い物ができます。また、各コーナーには大型モニターが設置され、商品の機能説明や使い方などのバーチャル体験ができる最新の店作りになっております。これからもご来店いただいたお客様への親切丁寧な接客を通じて、未永くご支持いただけるよう取り組んでまいります。

所在地：下関市竹崎町4丁目4番8号 シーモール下関4階
電話番号：083-232-5171
売場面積：1,702㎡(約515坪)

店舗ピックアップ 2 エディオン茨木藤の里店



2020年9月11日(金)、大阪府茨木市の複合商業施設「茨木ショッピングプラザ」の1階に「エディオン茨木藤の里店」をオープンいたしました。話題の最新家電をはじめ、1万アイテムにのぼる日用品、ペット用品、文具や人気のおもちゃ、ゲーム、スマートフォン、暮らしを快適にするリフォームなど幅広い品揃えでお客様をお迎えいたします。また、24時間受け取り可能な「商品受取ロッカー」の設置により、お取り寄せ商品やお預かりした修理品等をお客様のご都合のよい時間にお受け取りいただけます。さらに、店内にはロボットプログラミング教室「ロボ団」が併設されており、ロボットプログラミングを通じて、どんな社会でもたくましく、しなやかに生きる力を育みます。体験・体感のできる最新の売場で、今後も未永くご愛顧いただける店舗を目指してまいります。

所在地：茨木市藤の里1-7-41 茨木ショッピングプラザ1階
電話番号：072-640-1601
売場面積：2,466㎡(約745坪)

TOPICS 1 2020年3月期 統合報告書



当社は、財務・非財務情報を統合し、企業価値創造のプロセスや社会的課題解決に向けた取り組みを報告する統合報告書「Integrated Report 2020」を公開いたしました。本報告書においては、企業活動の財務面だけでなく、エディオングループの中長期的な事業の成長戦略と、ESG、SDGsをはじめとする非財務面の取り組みについて、すべてのステークホルダーの皆様によりわかりやすく報告することを目的としております。

当企業グループでは、今後も「効用の提供と完全販売によるお客様第一主義の実現」という経営理念のもとで、企業の持続的な成長と社会貢献活動を推進し、企業価値の向上を図ってまいります。

統合報告書「Integrated Report 2020」は、以下のアドレスで御覧いただけます。

<https://www.edion.co.jp/ir/library/integration>



TOPICS 2 店舗のデジタル化推進



当社のスマートフォン用アプリであるエディオンアプリに「スマホでスキャン」機能が追加されました。エディオンアプリの「スマホでスキャン」では、商品プライスのバーコードを読み取るか、電子プライスにスマートフォンをかざすことで、「エディオンネットショップ」に連携することができます。詳細な商品情報やロコミ、説明動画の閲覧を行えるなど「新しい買い物体験」を体感していただけます。お客様自身のタイミングで商品を調べることもでき、検索

した商品履歴も表示されるので、商品の比較をしながら検討することも可能です。店頭に設置されたデジタルサイネージやテレビ画面では、お勧め商品の機能や使い方の動画を映し出すなど、接客の効率化も図っており、これからもデジタル活用を進めてまいります。

TOPICS 3 アーチェリー部 リカーブ団体男子で日本記録を樹立



左から河田悠希選手、岩田歩選手、菊地栄樹選手

7月に開催された2020年度広島県アーチェリー協会会長杯で、リカーブ70mラウンド団体男子に出場した当社所属の菊地栄樹選手、岩田歩選手、河田悠希選手の優勝記録が、日本記録として認定されました。実業団チームによる団体男子の日本新記録樹立は初の快挙となります。また、菊地選手、河田選手の2名は東京オリンピック最終選考会への進出も決定しており、今後の活躍が期待されています。

2020年度上期は家電直営店では「豊田四郷店（愛知県）」、「茨木藤の里店（大阪府）」、「ららぽーと愛知東郷店（愛知県）」など5店舗を新設、「シーモール下関店（山口県）」を移転し、非家電直営店1店舗を閉鎖しました。フランチャイズ店舗は6店舗を新設、8店舗を閉鎖したため2店舗の減少となりました。以上により、2020年9月30日現在の店舗数は直営店437店舗とフランチャイズ店749店を含めて1,186店舗となりました。

店舗数

新規出店
店舗数

11 店舗

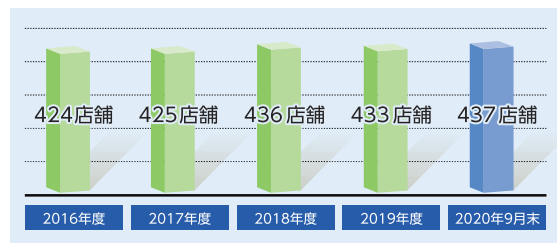
直営店：5店舗 フランチャイズ店：6店舗

総店舗数
(2020年
9月30日現在)

1,186 店舗

直営店：437店舗 フランチャイズ店：749店舗

直営店舗数の推移



エディオンJR芦屋駅店
【兵庫県】



エディオンららぽーと愛知東郷店
【愛知県】



エディオン ファニチャーダーム
岡崎大樹寺店 【愛知県】



エディオン豊田四郷店 【愛知県】

出店店舗（家電直営店）2020年4月～2020年9月

出店月	区分	店名	所在地
4月	新規	JR 芦屋駅店	兵庫県 芦屋市
4月	新規	豊田四郷店	愛知県 豊田市
5月	新規	ファニチャーダーム岡崎大樹寺店	愛知県 岡崎市

出店月	区分	店名	所在地
6月	移転	シーモール下関店	山口県 下関市
9月	新規	茨木藤の里店	大阪府 茨木市
9月	新規	ららぽーと愛知東郷店	愛知県 愛知郡東郷町

●会社概況 (2020年9月30日現在)

会社名	株式会社エディオン	本店所在地	広島市中区紙屋町二丁目1番18号
事業内容	家庭電化商品等の販売	本社事務所	大阪市北区中之島二丁目3番33号
設立日	2002年3月29日	上場取引所	東京、名古屋証券取引所 各市場第一部
資本金	119億40百万円	正社員数	8,036名(単体)、9,064名(連結)

●主な子会社・関連会社 (2020年10月1日現在)

株式会社サンキュー 【家庭電化商品等の販売】
フォーレスト株式会社 【オフィス用品、日用品、各種業務用品等の販売】
フォーレスト酒販株式会社 【酒類等の販売】
株式会社エヌワーク 【情報システムの運営及び開発】
株式会社ジェイトップ 【フリーペーパー及び求人誌、その他雑誌等の一般貨物の配送】
株式会社エディオンハウスシステム 【太陽光発電システムの販売・工事、住宅リフォーム等】
株式会社イー・アール・ジャパン 【リユース事業及びリサイクル事業】
株式会社e-ロジ 【貨物運送業、倉庫管理業等】
夢見る株式会社 【プログラミング教室等の運営】
株式会社サンフレッチェ広島 [※] 【プロサッカーチーム】
株式会社マルニ木工 [※] 【家具の製造・販売】

※持分法適用関連会社

●取締役・監査役 (2020年9月30日現在)

■取締役

代表取締役 会長兼社長執行役員	久保 允誉	(株)サンキュー代表取締役会長
取締役専務執行役員	山崎 徳雄	経営企画本部長
取締役専務執行役員	新 晶	営業本部長
取締役専務執行役員	金子 悟士	物流・ITサービス本部長 (株)e-ロジ代表取締役社長
取締役常務執行役員	小谷野 薫	管理本部長
社外取締役	石橋 省三	
社外取締役	高木 施文	
社外取締役	眞弓 奈穂子	
社外取締役	福島 淑彦	

■監査役

常勤監査	山田 富士雄
社外監査役	竹原 相光
社外監査役	福田 有希

● 株価の推移 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位：円)

	始値	高値	安値	終値
エディオン	872	1,241	821	1,100
日経平均	18,686	23,623	17,647	23,185

● 1株当たり配当額と配当性向

(単位：円 銭)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
中間配当	11.00	13.00	14.00	18.00	20.00
期末配当	15.00	15.00	18.00	16.00	(予想) 14.00
年間配当	26.00	28.00	32.00	34.00	(予想) 34.00
配当性向 (連結)	19.50%	30.80%	30.40%	33.60%	28.01%

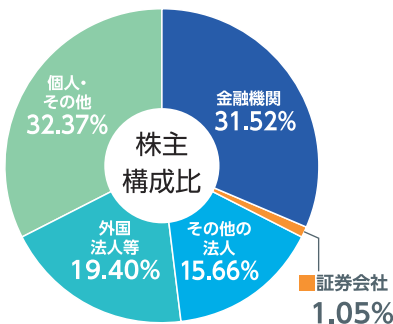
● 株式の情報 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	112,005,636株
株主数	39,100名

● 株主メモ

決算日	毎年3月31日	株式に関するお問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区伏見町三丁目5番6号 電話番号：0120-094-777 (通話料無料)
株主名簿管理人/ 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行 東京都千代田区丸の内 一丁目4番5号	ホームページ	https://www.tr.mufj.jp/daikou/

● 株主構成比 (2020年9月30日現在)



● 主要株主情報 (2020年9月30日現在)

※持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

株主名	持株数 (千株)	持株比率
株式会社 LIXIL グループ	8,961	8.37%
エディオングループ社員持株会	7,868	7.35%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,890	6.43%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,755	4.44%
株式会社ダイイチ	3,449	3.22%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口 9)	3,386	3.16%
久保 允誉	2,137	2.00%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口 5)	1,881	1.76%
第一生命保険株式会社	1,811	1.69%
株式会社三菱UFJ銀行	1,692	1.58%

株主優待

当社では多くの皆様に株主になっていただきたく、「株主優待制度」を設け、エディオングループでのお買い物にご利用いただける優待券を贈呈しております。このたび株主の皆様のご意見を踏まえ、利便性をより一層向上させるため、2020年6月に発送する優待券より従来の値引券から金券（エディオンギフトカード）に変更いたしました。また、2020年3月末を基準日とし、1年以上長期保有の株主様への追加贈呈を導出し、2021年6月発送分から適用いたします。

お買い上げ金額にかかわらず、株主様ご優待ギフトカードによりお支払いいただけます。



株主優待制度 概要	
対象者	毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、1単元(100株)以上ご所有の株主様
有効期限	2021年6月30日まで(1年間)
ご利用可能店舗	エディオン、100満ボルトの店舗(フランチャイズ店舗を含む)、および「エディオンネットショップ」(https://www.edion.com/)

所有株数	優待金額	長期保有加算
100～499株	ギフトカード 3,000円分	1,000円分
500～999株	ギフトカード 10,000円分	
1,000～1,999株	ギフトカード 15,000円分	
2,000～4,999株	ギフトカード 20,000円分	
5,000～9,999株	ギフトカード 25,000円分	
10,000株以上	ギフトカード 50,000円分	2,000円分

エディオングループではESGへの取り組みを推進しております。

ESG経営により、循環型社会の形成と、企業の持続的成長を目指してまいります。

Environment (環境)

●廃棄物の削減、再利用、再資源化

- ・子会社(株)イー・アール・ジャパン
金属等のリサイクル、
パソコン等のリユース



●環境と人に優しい店づくり

- ・太陽光発電システム、エネル
ギー管理システムの設置、省エ
ネ型製品の販売などによりCO₂
削減に貢献
- ・プラスチックゴミ削減のため
レジ袋有料化
- ・利用者へ配慮した設備の設置



●森林保護活動の実施



Social (社会)

●製品・サービスの安定供給

- ・BCP基本計画を策定し、商品販売
等重要業務の継続および早期復旧
で社会的責任を果たす体制を構築



●消費者の安全確保

- ・商品性能テスト研究所で新規
商品、海外製品等の安全性、
操作性、耐久性等をテスト



●健康経営宣言

- ・定期健診実施、生活習慣改善
の推進、禁煙対策
- ・ヘルスリテラシー教育の実施
- ・ワークライフバランスの推進



●感染症予防対策

- ・政府の方針に迅速に対応し、
新型コロナウイルス対策を実施



●フードバンク支援

- ・子会社(株)ジェイトップが食料輸送による
フードバンク活動団体への支援を実施



●社会貢献活動 (文化・教育・スポーツ)

- ・ロボットプログラミング教室の運営
- ・スポーツ振興で地域活動に貢献



●女子陸上競技部



Governance (企業統治)

●ガバナンス体制の強化

- ・独立役員の充実
- ・指名報酬委員会の設置
- ・取締役会実効性評価の実施



●コンプライアンス施策の強化

- ・倫理・コンプライアンス
マニュアルの策定
- ・内部通報に係る
体制整備・強化
- ・セクシャルハラスメント防止
ポスターの全事業所貼付



●ステークホルダー コミュニケーション

- ・株主・投資家との対話強化
- ・会社説明会の実施
- ・個人投資家向け説明会の実施

